

- 産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向け、**様々な主体が参画し、技術や知恵を総動員するプラットフォーム**。インフラの維持管理における分野横断的な連携、多様な主体との連携を推進。
- インフラメンテナンスサイクルのあらゆる段階において、**多様な産業の技術や民間のノウハウを活用し、メンテナンス産業の生産性を向上させ、メンテナンス産業を育成・拡大**することで、持続的・効率的なインフラメンテナンスを実現。

革新的技術の開発と実装の加速

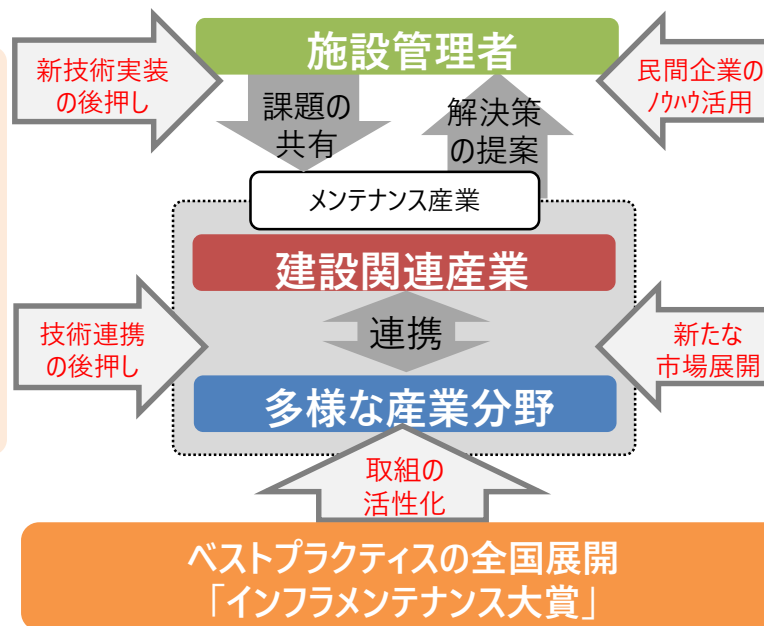
・新技術の試行



■点検診断一貫システムの試行



■下水圧送管路の効率的な調査方法の試行



民間企業のノウハウ活用

- ・自治体の議論の活性化



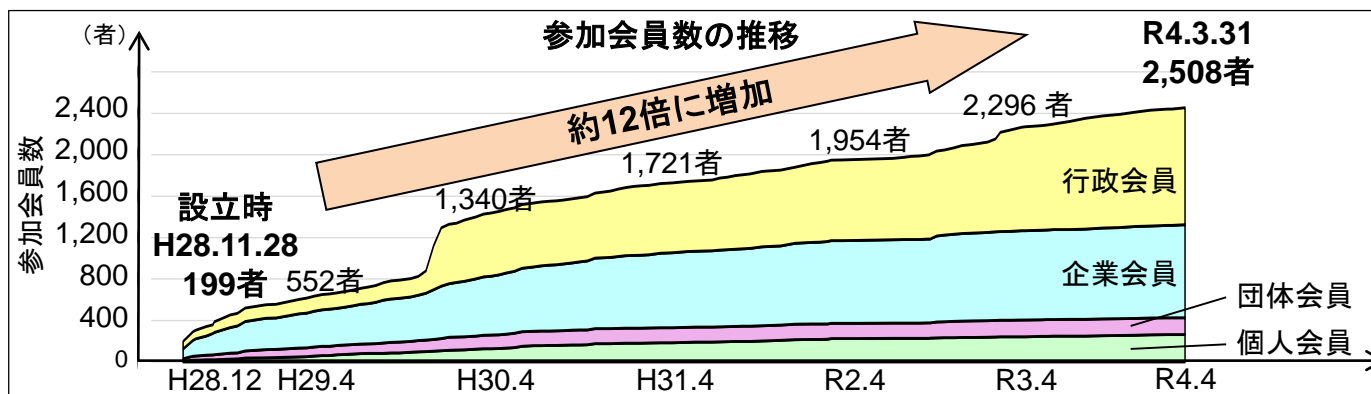
■新技術導入研究・意見交換会（品川区）

海外市場の拡大

- ・我が国企業の海外展開支援



■海外市場展開フォーラム設立総会



- 施設管理者のニーズや課題に対し、ピッチイベント・フォーラム等により解決のシーズ技術を掘り起こし、オープンイノベーションにより技術開発を促進。
- セミナー等の技術紹介等を通じ、開発した技術の社会実装を後押し。

【地方自治体への支援】

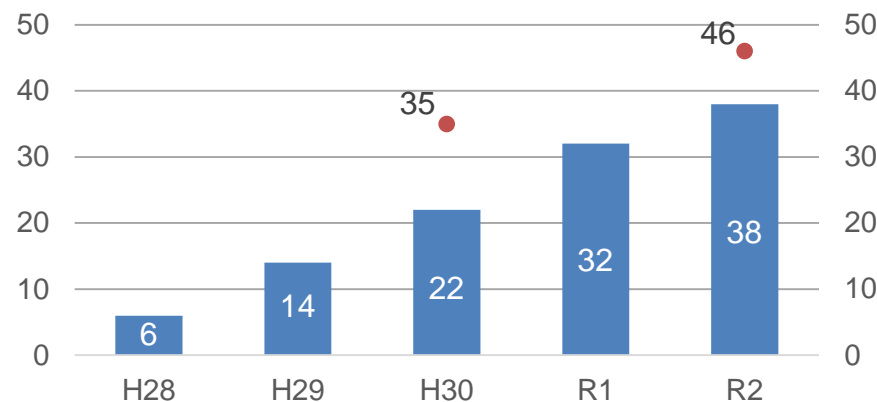
施設管理者のニーズや課題に対し、ピッチイベントやマッチングイベント等によりシーズ技術とのマッチングを後押しし、地方自治体の課題解決を図る



複数企業からシーズ技術を順番にプレゼンテーション

※ピッチイベント：短い時間で民間の製品等を紹介する催し

■ 国民会議による新技術の現場試行累積数および施設管理者における新技術導入率の推移

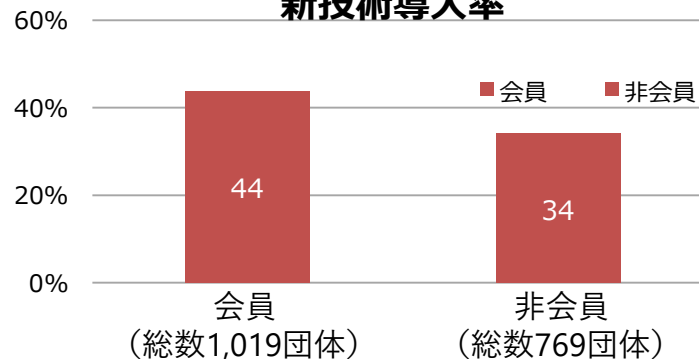


■ 現場試行累積数(技術:左軸) ● 新技術導入率(%:右軸)

■ 国民会議による導入促進効果

国民会議会員／非会員ごとの
新技術導入率

(R3.3月時点)



【革新的技術の社会実装】

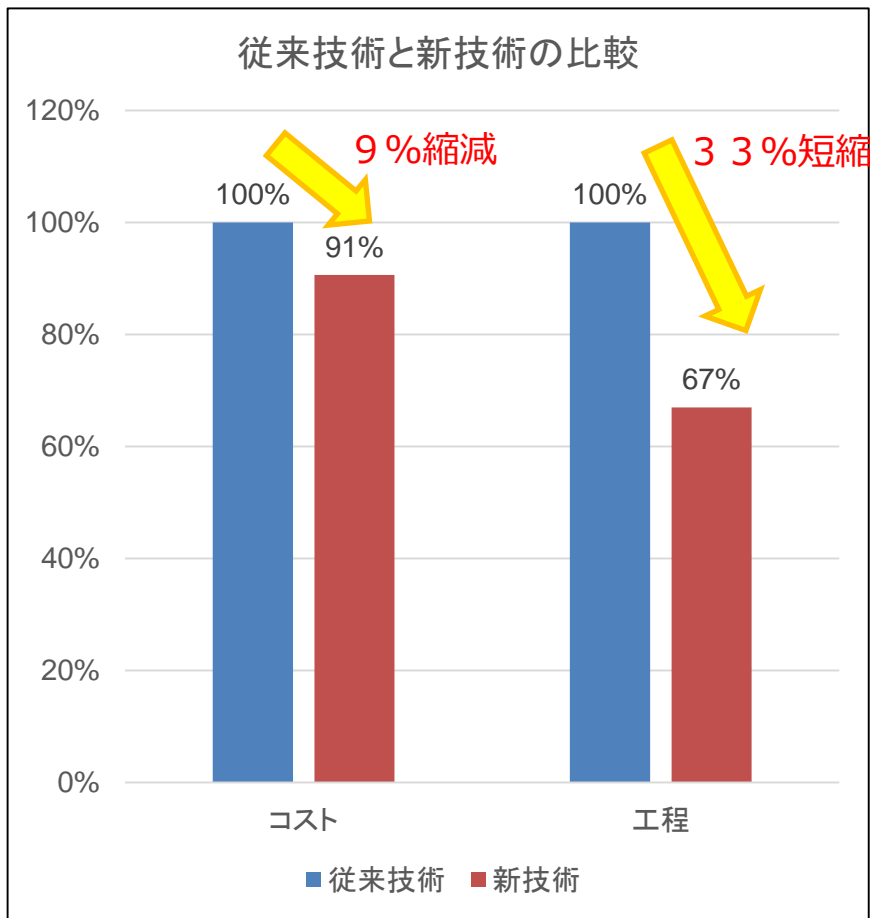
課題解決につながる技術開発・新技術導入に向けた実証実験等のコーディネートにより、技術の社会実装を促進



舗装路面の損傷状態を点検する技術の視察

- 新技術活用システム (NETIS) に登録された維持管理部門の30技術について、システムに掲載されている**効果 (カタログ値)** を平均すると**コストが9%縮減、工程が33%短縮**。
- インフラメンテナンスにおいて新技術導入をより一層推進し、**トータルコストの縮減や生産性の向上を実現**

■ 新技術の導入効果



■ 新技術の導入事例

・壁面走行ロボットを用いたコンクリート点検システム



コスト21%縮減
 ハイピア等の高所作業車が適用できないコンクリート構造物におけるロボット点検システム

・AI橋梁診断支援システムDr.Bridge



工程56%短縮
 橋梁(コンクリート部材)の健全性・劣化要因判定及び点検調書作成を支援するシステム

※新技術活用システム (NETIS) に登録された維持管理部門の30技術を対象 (令和4年12月20日時点)